

久徳敏治 常務取締役

内 容：5,000人を超す犠牲者をだした阪神・淡路大震災は、戦後日本の都市計画や土木・建築工学のあり方にさまざまな疑問を投げかけました。被災地復興の一端を担う建築技術分野で、この震災の教訓をどう生かそうとしているのかを、いくつかの調査研究から紹介します。

1. 関西地方の地盤特性と地震のメカニズム
2. 被害の概要と特徴
3. 復旧復興における問題点と対策

15:20～15:40 休 憩

15:40～16:45 自由懇談会

司会 近江宗一 関西支部副支部長

16:45～16:50 総 括

榎木義一 関西支部長

5. 参加申込み 6月27日(火)まで
同封のハガキでお知らせ下さい。
6. 参加費 当日会場でいただきます。
講演会 会 員 1,000円
非会員 3,000円
特別懇話会 2,000円
7. 参加者 35名

(5)第1回(第2回)パネルディスカッション

『主テーマ：21世紀をめざした技術開発のあり方を求めて』

「変革期を迎えた企業の研究開発」

1. 開催説明